

よらねわか合

地域の人口動態

平成25年5月末現在	
世帯数	1,208戸
男	1,928名
女	2,035名
人口	3,963名

2013.7.16 第35号

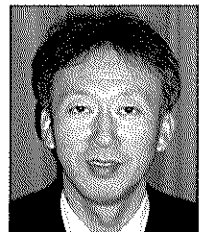
発行責任者：四柳 健二

編集：総務部



華麗に咲く ハナショウブ

巻頭エッセイ



小合偉人伝

新潟市立小合中学校長 保科 賢一郎

小合の偉人の中で、特に近年注目を集めているのは、吉田千秋さんです。

校長室にもその肖像写真と「吉田千秋研究」としてまとめられた三冊の本があります。それぞれ、植物・美術・音楽と二冊ずつにまとめられています。

「琵琶湖周航の歌」の原曲を作曲したことで有名になっています。大正四年（一九一五）二十歳の時、雑誌「音楽界」に発表されました。ラジオ放送が始まったのが大正十四年ですから、十年も前の話です。現在のようにラジオやテレビで放送されたわけではありません。つまり、楽譜だけで当時話題になったということになります。

音楽ばかりでなく、絵や文章についても優れたものを数多く残していることに驚かされます。「吉田千秋研究Ⅱ 手作り個人雑誌の小宇宙」に至っては、十歳から十七歳までの六年間、自宅で制作した個人雑誌について、詳しく解説されています。絵は、とても細かく丁寧に描かれ、文章も様々な勉強した成果が発揮されています。

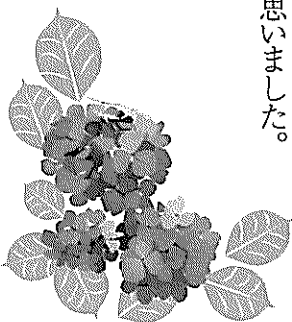
ちやうど中学生くらい歳の歳に書いたものと考えるとその能力の高さにただただ驚くばかりです。

さらにさかのぼると、江戸時代の偉人として、三ツ屋の平川与五兵衛さんがあげられます。

天保十二年（一八四〇）六月二十六日、信濃川が大増水になり、地域一帯が大洪水の危険にさらされました。その時、平川与五兵衛さんは濁流に飛び込み、大蛇と格闘の末、大蛇が邪魔して閉まらなかつた門扉を閉めて、村を大洪水から救ったそうです。村は助かったけど、与五兵衛さんは心臓をえぐられて水底に沈んでいたそうです。

数年続いた天保の大飢饉に飢えの惨めさと苦しきから、なんとか村を救いたいという強い思いだったに違いないと石碑の説明に書かれています。

ふるさとの偉人を誇りに思うと同時に学ぶこともたくさんあります。その努力する姿や、一緒に住んでいる人たちが大切に思う気持ちは、是非見習いたいものだと思います。

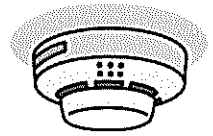


家庭の防災メモ (大事な火災の初期発見)

命と財産を守るため

『住宅用火災報知器』の

設置が有効です!



取り付けは簡単です。

平成23年6月1日から住宅用火災報知器の設置が義務となつています。

平成24年度、新潟市の1000世帯の無作為のアンケートで、1070世帯から回答があり、設置率が85%でした。設置していない理由は、設置が面倒、経費の負担等が多いなどでした。無回答もあり、実際の設置率はかなり低いと思います。

なぜ「住宅用火災報知器」を設置するかについては、住宅火災による死者が最近急増し、その半数以上が高齢者となっております。高齢者の割合が大で、いずれも夜間就寝中で逃げ遅れが原因となっております。住宅用火災報知器を設置する事で早期に火災発生を知る事が出来ます。



今年、秋葉消防署で行われた自主防災組織リーダー研修会の様子

火災報知で、初期消火が可能になり、逃げ遅れが防げて、助かる可能性が大きくなります。秋葉区及び小合地域でも、今年度何件かの火災が発生しています。他人事と思わず、住宅用火災報知器をまだ設置していない住宅には是非、早目の設置をお願い致します。市販されている報知器は、ネジ一本で取付けでき、値段は、数千円の物からあります。

お茶の間 話題コーナー

土用の丑の日

(丑の日)

「土用って知っている」と聞くとほとんども、うん！ うなぎでしょうと返ってきます。そろそろスーパーのチラシで「土用の丑の日」はうなぎ！を目にする時期になりました。

●7月22日と

●8月3日の、二日です。

これは、土用とは、歴法で立春、立夏、立秋、立冬のそれぞれ前18日間のこと(季節の変わり目)を言います。土用の丑の日は、土用の間のうち十二支が丑の日です。一般に立秋の前(夏の土用)18日間の中の丑の日(丑)を言います。

夏の土用には丑の日が、年に1日又は2日あり、2日ある場合はそれぞれ「二の丑」「一の丑」と言うのだそうです。

なぜ「うなぎ」を食べるのかについては、一説に江戸時代、夏になると暑くてうなぎが売れず困っているうなぎ屋が学者の平賀源内(ひらがげんない)に相談したところ、「う」の付く土用の丑の日に「今日(う)はうなぎの日です(う)なぎを食べよう」という張り紙を店の前に出したところ、うなぎが飛ぶように売れたそうです。

これがきっかけとなり、現在も、夏の土用の丑の日には、うなぎを食べるようになったと言います、が詳しい事は分かっていないようです。



小合地区親善ソフトバレーボール大会

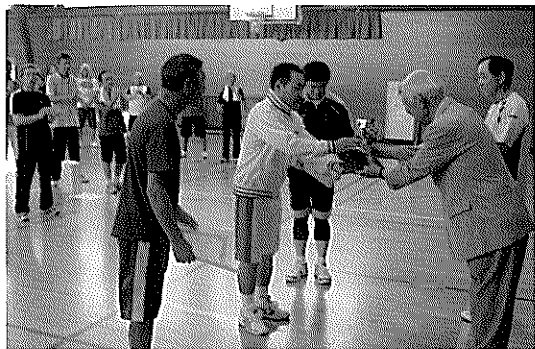
平成 25 年 6 月 23 日(日)

六月二十三日、第十五回ソフトバレーボール大会が小合中学校体育館で開催されました。

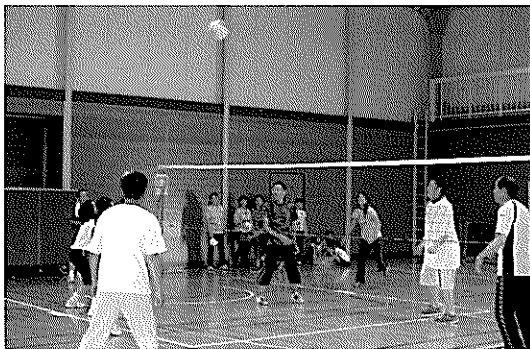
昨年は、小合東小学校区からの六チームで行われましたが、今年は、小合小学校区から「子成場」チーム及び地区コミセン選抜「ナデシコ」チームの参加があり、八チームで争われました。

四柳コミ協会の開会挨拶後、前年優勝チーム「栗宮マロン」チームからカップの返還が行われ、準備体操後、試合開始です。試合は豪快なスパイク、華麗な足技? 顔面レシーブ等、好プレー、珍プレーの連続で盛り上がり、コート外では初出場の子成場チームから艶やかなチアリーディング応援、又「ナデシコ」チームに中学生の助っ人も加わり、熱気の中ケガもなく無事終了しました。優勝は「栗宮マロン」チームの連覇!! でした。選手、役員の皆様ご苦労様でした。

【保健体育部】



優勝した「マロン」チーム(栗宮)



初出場チームも、応援とガンバリで健闘!

笹団子作り挑戦

平成 25 年 6 月 15 日(土)

毎年好評な「笹団子作り教室」を開催。



作った笹団子を囲んで(コミセン調理室で)

六月十五日、文化教養部主催の笹団子づくりが行われた。平成十二年からはじめて、今回、四回目となる。かつてはどの家でも笹団子は作られたものだ。蓬、菅、笹、米粉、餡の準備がなかなか大変なこと、食生活の変化等など、ほとんど家庭では作ることがなくなつた。

参加者は十三才から八十? 才までの十六人。講師は小戸上組の小林さん、佐藤さん。当日は FM 新津の取材もあり、ラジオでも放送された。「子供の頃、親に作らさ

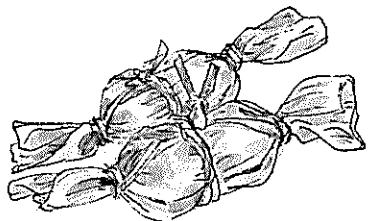
れたがもう作ることがなくなつて懐かしくて:「お菓子づくりは好きだが、笹団子をはじめ作ってみた。」「お土産に貰ったり、買ったりはしている。」「三回目だが、この団子がもちもちしておいしい。」「しっかりと押さえる笹の包み方がポイント。」などの声が聞かれた。講師の小林さんは「おいしさの秘訣は、生地を手でよくこねること」と話してくれた。

「あつ」という間に三百個の団子は笹に包まれ、蒸し器で十五分ほど蒸して出来上がり。試食の楽しいひと時を過ごした後、参加者は、それぞれの作った笹団子をお土産として持ち帰った。

【文化教養部】

笹団子

菅を巻くのが
むずかしき



「コミニティセンター」

花壇整備

平成 25 年 6 月 15 日(土)

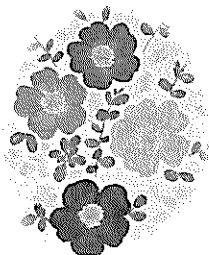
今年度も、新潟市より花苗の配布をうけ、各専門部とコミセン利用団体の有志の方からご協力をいただき花植えを行いました。今年から、460号線沿いに約50mの花壇を作り、整備しました。

国道を走る車からも見えますので、これが「花のふるさと小合」のイメージアップになれば幸いです。

【総務部】



国道460号沿い花壇に植苗(ポーチュラカ)



俳句教室を始めました

五月二十三日(木)一回目
(年間十一回予定)
文化教養部

文化教養部

五月二十三日(木)文化教養部
主催の俳句教室がスタートしました。
一回目は十人が参加しました。

毎月第四木曜日の十時から、コミュニティセンターの会議室で二年間、十一回を計画しています。講師は俳誌「雪」同人で大鹿出身の関口きよし氏。

「俳句の才能とは記憶力とセンス(感性)ではない。」歯磨きと同じく、毎日つづける能力、氏はこれを才能と説明しました。センスより多く作って慣れること、体で覚えることをすすめています。季語、リズム、切れ、写生が基本で、例句を示して、明るくて人生を肯定し、自分のために作り、上手下手を超えて、個性的な自分の句を作ることすすめました。

笑っているうちに、あつという間の二時間が経過してしまいました。
「こんなに面白いとは知らなかった。」

「話し言葉で誰でも作れて俳句が身近になった。」

「俳句のルールを知らなかった。」

「初心者にわかりやすく私でも作れる。」

「無料とはしらなかった。」

こんな言葉が聞かれました。

赤と白並びロビーのシクラメン

咲きかけの牡丹三本仏前に

亡き母に会いたくなりし笹団子

たちまち、こんな句がすぐ飛びだしました。



小合「こぼれ」のお知らせ

春の愛さつ運動 重点期間報告



おはようございます!

5月15日より、2日間、関係協力団体のご協力により「春の愛さつ運動」重点取組みを行い、主要な交差点で小学生や中学生の街頭指導(交通安全含む)を行いました。

引き続き、継続して

あいさつの励行に努めましょう。

春の愛さつ運動に参加された方、大変有難うございました。



「新津松坂」講習会開催

開催日時：平成25年7月27日(土) 午後7時

小合コミュニティセンターでは今年8月16日に、新津の本町目抜き通りで開催されます「新津松坂流し」に参加する事を目標に、新津松坂の講習会を開催します。

- ★開催場所：小合コミセン・大ホール
- ★講師：新津松坂協会の皆様
- ★服装：自由
- ★参加費：不要
- ★申込：込：コミセンまで電話

正式な「新津松坂」を教わり、おどりを思い出してみませんか。尚、第2回目の講習会を

8月4日(日)午後7時〜行います。

【総務部】

みんなで
おどりに
来てく
ださい。



小合コミセン ☎(25)2299

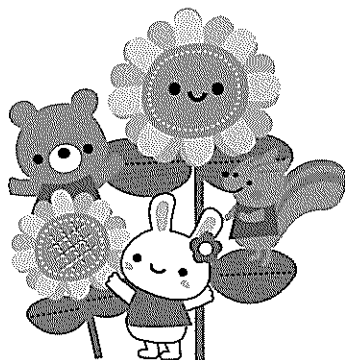
国道403号沿い

「ひまわり種まき隊」 に参加報告

平成25年6月9日(日)午前

総務部では、秋葉区からの種まきボランティア募集に協力し、ひまわりの種まきをしました。

秋葉消防署から南側の「国道四〇三号線フラワールード」の約80mに、小合コミ協代表として7名の方が、参加しました。この夏に無事開花してほしいです。



◇編集後記◇

今年度から始まった俳句教室に参加して、俳句は長く続ける事が大切だと教わりました。最近は変化が多い世の中ですが、何かに継続して取り組みできた良いのではないのでしょうか。

(YI)